

専務理事兼事務局長 退任挨拶

このたび一身上の都合により、3月末をもちまして理事および専務理事を退任することになりました。平成28年6月の定時総会から理事となり、専務理事兼事務局長を3年弱勤めさせていただきました。昨年専務理事に再任されましたが、任期を全うできず退任することにつきまして、大変申し訳なく思います。

前職の県職員として産業分野に長く籍を置いておりましたが、こと貿易に関しては素人の私に対しまして、会員の皆様には暖かく迎えていただき、時には見当

外れな発言についても、かんで含めるようなご指導ご助言をいただき、これまで勤めてまいることができました。

4月からは、新しい専務理事のもと、専任の事務局長が配置されます。秋田県の貿易を取り巻く環境は順風満帆ばかりではないかも知れませんが、齊藤会長のリーダーシップのもとで、会員の皆様の貿易取引が拡大し、発展していくことを確信しております。

最後に、会員の皆様のご多幸をお祈りして、退任のご挨拶とします。



前専務理事 兼 事務局長
黒木 孝人

新事務局長 挨拶

今般、4月1日付けで、事務局長に就任いたしました門間昭一と申します。どうぞ宜しくお願いします。

当協会は、県内企業への海外販路開拓支援、販売促進活動支援、そして海外見本市出展支援など海外取引拡大の推進業務を実施して、県経済の発展に寄与することを目的としています。

私は、これまで通商産業省(現:経済産業省)では、国連ユニセフへの日本商品輸出、貿易保険、海外市場調査など、秋田県庁では、コンテナ航路及びフェリー

航路の誘致、貿易促進など、センコン物流(株)(仙台市)では、中国(大連市)での合弁会社設立、水耕栽培システムによる野菜栽培など、主に貿易関連の業務に従事してきました。

今後は、これまでの経験を踏まえ、会員の皆様とスクラムを組んで、県内企業の海外事業展開のお役に立つ諸活動を立案・推進していく所存ですので、皆様の力強いご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



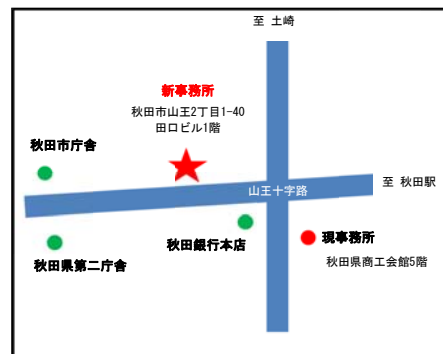
事務局長
門間 昭一

お知らせ 当協会事務所移転について

これまで当協会は、秋田県商工会館に事務所を置いていましたが、ジェトロ秋田事務所と同一箇所で事業を実施し、ワンストップサービスを展開することが、会員をはじめとする貿易関係者の一層の利便性向上等に

つながり、本県の貿易振興に資すると考え、理事会で移転を決議しました。

今後は、8月1日の移転予定日に向けて準備作業を進めていきます。新事務所の場所は図の通りです。





一般社団法人
秋田県貿易促進協会
Akita Trade Promotion Association

Newsletter

第48号

2019年4月発行

平成30年度 第4回理事会開催

3月14日、理事16名、監事2名出席のもと理事会が開催されました。初めに齊藤会長は、貿易を取り巻く情勢に不安要因があるものの、会員、行政、関係機関との連携を強め、新年度事業に取り組むとの意気込みを



▲理事会の様子

述べました。議案である専務理事の選任、事務局体制については、黒木専務理事兼事務局長の3月末での退任にともない、新たな専務理事に相場哲也氏、事務局長兼貿易エキスパートに門間昭一氏が選任されました。事務所移転については、秋田市山王の田口ビル1階へ、8月1日(予定)に移転することが承認されました。

また、平成31年度事業計画(案)、予算(案)、総会までのスケジュール(案)についても満場一致で原案どおり可決され、6月21日の定時総会開催に向けた準備を進めていきます。



▲専務理事に選任された
相場 哲也 氏
(秋田県商工会議所連合会常任幹事)

平成31年度事業計画 (案)

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1. 貿易取引の拡大促進</p> <p>(1) 海外取引拡大事業</p> <p>① 秋田県産品輸出促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールバイヤー招聘(5月) 現地バイヤーを招聘し県内企業に商談機会を提供する。 ・シンガポールフェア(10月) 日本食レストラン等において県産食材を使用したメニューフェアを開催する。 ・中国展示会出展(8月) 中国北東アジア博覧会に出展し、県産品の販路開拓を図る。 ・県内商社輸出促進応援事業(6月、11月) 県内商社の販路拡大を支援し、秋田港を活用した輸出拡大を図る。 <p>② 海外企業マッチング支援事業</p> <p>海外にネットワーク等を持つ企業に現地調査、アテンド、連絡支援等の業務を委託する。</p> | <p>(2) 県産品トライアル輸出事業</p> <p>これまでの事業で構築したネットワークを活用し、トライアル輸出を行う。</p> <p>(3) 意見要望活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田港湾事務所への要望活動(4月予定) ・国土交通省への要望活動(8月予定) <p>2 貿易支援体制の強化</p> <p>(1) ジェトロ連携強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ジェトロ秋田と連携し、支援体制の強化と海外展開をめざす県内企業の裾野拡大を目指す。 ② 貿易手続きの一部代行に関して調査する。 ③ インターネット商取引を活用した貿易に関して調査する。 | <p>3. 貿易相談と普及啓発活動</p> <p>(1) 相談業務</p> <p>専門アドバイザーおよび職員による個別相談の実施</p> <p>(2) 講習会、研修</p> <p>貿易普及促進講習会の開催(6月)</p> <p>(3) 外国語講座、翻訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ロシア語講座(入門、初級、中級)の開催 ② 中国語講座(入門)の開催 ③ ロシア語、英語、中国語の翻訳 <p>(4) 情報提供、広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ ・メールマガジン(毎週配信) ・会報発行(四半期発行) <p>(5) ポータルサイト維持管理</p> <p>関係機関等の貿易に関する各種支援制度、および県内企業の海外展開事例等を紹介</p> |
|--|--|---|

あなたの貿易ビジネスをサポート!



一般社団法人 秋田県貿易促進協会

〒010-0923
秋田県秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館5階

電話 018(896)7366 FAX 018(896)7367 Email info@a-trade.or.jp ホームページ <http://a-trade.or.jp/>

海外展開の取組事例紹介

(株)大潟村あきたこまち生産者協会

グルテンフリー食品を世界の人々へ



▲グルテンフリー食品の紹介をする
あきたこまち生産者協会 加藤貴之さん(右端)

(株)大潟村あきたこまち生産者協会は、1988年(昭和63年)に設立され、米生産から加工・販売まで一貫した体制を確立している総合食品メーカーです。

主にお米(白米・玄米・もち)、発芽玄米、パックごはん、米粉を使ったグルテンフリー食品、非常食、甘酒など様々なお米の加工食品を販売しています。

これら商品の中で、海外への販路拡大に最も力を入れているのがグルテン

フリー食品で、パスタやパスタソースなど多くの商品を揃えています。

このグルテンフリーとは、もともと小麦アレルギーや、小麦に含まれるたんぱく質「グルテン」が分解できない人向けに生み出された食事療法のことでしたが、健康志向の高い人が同様の食事法を行ったところ、体調維持に役立つと評判になり、近年、欧米諸国で新たな食習慣として広がりを見せています。

グルテンフリー食品を作るようになったのは、9年前の国による米粉利用の促進策を受け「米粉めん」を作ったのがきっかけでした。国内向けに米の需要拡大を見込んで取り組んでいましたが、4年前に世界ランキング1位のテニスプレイヤー、ノバク・ジョコビッチ選手の「グルテンフリー」という食事法が注目を浴びたことで、海外に自社製品の需要とチャンスがあることを知り、本格的な輸出に乗り出しました。

現在は中国・アメリカ・香港・台湾

を中心に展開しています。商品の安全、安心を保証するため、2017年にはアメリカで最もグルテンフリーの基準が厳格な認証機関GFCO (Gluten-Free Certification Organization) からの認証も取得しました。

今後の展望についてお聞きしたところ「グルテンフリーラーメンを新たな戦略商品として展開、またハラール認証も取得して東南アジアにも販路を見出したい」と熱く語る事業開発部統括の加藤貴之さん。

昨年、同社は設立30周年を迎え更なる飛躍に向け挑戦を続けています。

グルテンフリーラーメン(米粉ラーメン)の取組についてもっとご覧になりたい方は以下のQRコードから動画をご覧になることができます。

※スマートフォン等でご視聴の際は、Wi-Fi接続をおすすめいたします。



世界は今 -JETRO Global Eye
「米粉ラーメンアメリカへ行く」
<https://www.youtube.com/watch?v=SwRvJdk-IRc>



▲株大潟村あきたこまち生産者協会との商談



▲株Beechとの商談と工場の視察

韓国商談会フォローアップ

【県主催】韓国バイヤー招聘事業

2月28日、当協会がこれまで実施してきた韓国事業のフォローアップとして、県内企業と韓国企業の商談に参加しました。

今回の韓国企業との商談は秋田県商業貿易課が2月27日から3月2日の日程で実施した韓国バイヤー招聘事業によるもので、食品関係からは高級食品専門のオンラインショップ「Kurly.com」を運営するマーケットカーリーと食品輸入商社ヒョク&コ、食品以外では韓国最大手の寝具販売会社イブザリとその輸入業務を請け負っているピルコの合計4社が県内企業と商談しました。そ

れぞれ韓国では非常に大きな販路を持つ有力企業であるため取引が成立した場合、大きな成果が期待できます。

当協会に商談に参加したのは「王様の夢枕」シリーズを主力商品としている八峰町の寝具メーカー(株)Beechと、グルテンフリーなどアレルギー対応食品を提案する(株)大潟村あきたこまち生産者協会の2社でした。

今後、韓国企業による社内検討やテスト販売などを経て、取引成立に向けた商談を継続していきます。当協会としても引き続きフォローアップを行っていきます。

平成31年度ロシア語講座が始まりました

平成31年4月～

今年も、ネイティブのスペトラーナ先生と、専門アドバイザーのヴィクトル先生によるロシア語講座の時期となりました。

入門コースでは、ビギナーの方が熱心にロシア文字や発音の基礎を学び始めています。日本語が話せる先生なので初心者でも安心です。また、初級コースではよく使われる基本的な表現や文法を、中級コースでは発展的な日常会話を学習します。受講生の現在のロシア語レベルや学習目的に合わせて、先生が丁寧に教えてくれます。少人数クラスなので、ロシア語の力を無理なく短期間でレベルアップ

できます。とかく難しそうなイメージのあるロシア語ですが、先生方によると発音も日本語に近く、文字数も英語と大差なく覚えやすい言語とのことです。授業は各級とも週1回、

3カ月で約10回を予定しており、講座を通してロシア文化への理解も深まることを期待しています。



入門コース
泉スペトラーナ先生



初級・中級コース
ネザムトチノフ・ヴィクトル先生

平成30年度中国語講座 終了

平成30年10月10日
～平成31年3月27日



講座の様子

国語講座を実施しました。

毎週水曜日、ネイティブの崔先生による全19回のレッスンを行いました。秋田に長くお住まいで日本語も堪能な先生から、季節や地域の話題も習い、実りある授業になりました。

ご存知のように、中国語は世界で約13億人が話す言語で、英語に次ぐ高いニーズがあります。一方、欧米人には習得が難しいと言われていますが、漢字に親しんでいる日本人に

とって学習しやすい言語とも言えます。

当講座では先生が一方向的に教えるのではなく、受講生がペアで実際に対話練習を行い、学んだ表現をしっかりと身に付ける工夫がされました。

受講生の方からは、入門レベルの段階から、中国語を知る・使う・繰り返すことにより、言語を学ぶ楽しさを知ることが出来たとの嬉しい感想がありました。

「オリジナル商品開発WEEK」視察 貿易実務研修

2月19日から22日まで東京ビッグサイトで開催された展示会「オリジナル商品開発WEEK」を視察しました。

日本各地の地域産品の新商品開発やPR方法についての展示があったほか、海外展開を目指す地域ブランドの知的財産保護の重要性などについてのセミ

ナーが行われました。

日・EUのEPA(経済連携協定)発効などにより、貿易の自由化が進み、海外が今よりも身近になっていく中で、トラブルに巻き込まれることなく貿易拡大ができるよう、今後も必要な情報の収集に努めていきます。



▲展示会の様子